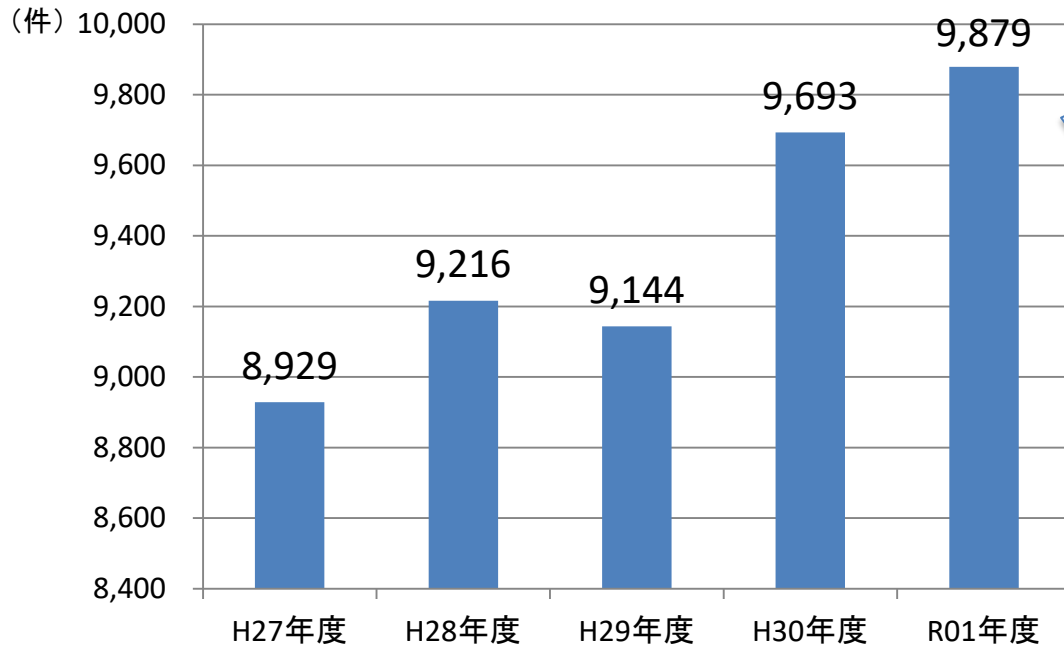


病理組織診断件数

■ 解説: process指標

病理診断に基づいて、治療の必要性や治療方法を選択します。件数が多いほど正確な診断が適時適切に行われているということを表す指標です。

■ 当院の実績



《自己点検評価》

手術室の増室に伴って手術件数が増加、がん患者も年々増加し、病理診断の重要性が高まっています。平成26年度より、病理診断科を標榜し、病理専門医を志す若い医師も集うようになってきました。それまで、外科系で行われていた手術検体処理・切り出しを病理医主導で行うことを標準化しました。スライドグラスを顕微鏡で見るだけの病理診断から脱却し、臨床画像・データと肉眼観察との対比を重視した、詳細でわかりやすい病理診断を実践しています。

■ 定義

医科診療報酬点数表における、「N000 病理組織標本作製(T-M)」および「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の算定件数です。入院と外来の合計として、細胞診は含めません。

■ 算式

レセプト算定件数